

数学解答での文字の記述について

英語の授業で筆記体を教えなくなって以来、数学の記述解答でもブロック体で書く生徒が多くなってきました。(先日も多教になってきたのはびっくりです)。印刷された解答では b を 6 と見まちがえることはまずないですが、手書きの解答では、判別できないものがたくさんあります。中には書いている本人が途中で b を 6 としてしまっているものもあります。ですので、解答が手書きのこのサイトでは、判別に注意して筆記体を使うようにしています。以下に例を挙げておきます。

b (小文字の B) 6 とまちがえる	→	b (筆記体)
q (小文字の Q) 9 とまちがえる	→	q (筆記体)
l (小文字の L) 1 とまちがえる	→	l (筆記体)
z (小文字の Z) 2 とまちがえる	→	z (ゝをつける)

また以下も注意して使ってください (読み方も) (矢印は書き順)

$\overset{\curvearrowright}{a}$ (小文字の A) と α^{\curvearrowleft} (アルファ)

b (小文字の B) と $\uparrow\beta$ (ベータ)

r (小文字の R) と γ (ガンマ)